

部局名	消防本部	所属名	消防署	所属長名	山口 彰	電 話	458-0119 内線100
-----	------	-----	-----	------	------	-----	----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3362		事務事業名称	警防活動事業					短縮コード	経常	3362	臨時	3672
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費	
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		消防組織法・消防法・消防力の整備指針						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
消防組織法に基づき昭和42年に開始した義務的事業で、火災防ぎょを中心とした災害防ぎょ活動事業。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	04	第4章安心安全都市をめざして					
今後、人口及び建築物の増加により災害出動の増加が予想されます。また、テロ災害、NBC(核・生物・化学)災害など、災害形態も複雑多様化することが予想されます。東日本大震災以降、防火・防災に対する意識が、今まで以上に高まっています。						大項目（節）	02	第2節市民の安全					
						中 項 目	02	2. 消防					
						小項目（施策）	01	(1)火災予防の推進					
							02	(2)消防体制の充実					
						細 項 目	01	①防火意識の普及・啓発					
							02	②消防車両等の整備					
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	火災等の災害									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 火災等の災害に出動（火災46件、その他724件、計770件）し、消火・救出・救護活動及び二次災害防止活動を実施し、被害の拡大防止、被害の軽減に努めました。 火災対応図上訓練等のほか、大規模災害対応訓練を実施しました。 いざという時に「火を消せる」知識と技術を持った人間を育成するため、市教育委員会・全小学校と連携し、全校で授業に「4年生全児童の防火体験」を取り入れていただき実施しました。									
	※平成25年度に計画していること： 平成25年度も引き続き、要請のあった全ての災害に出動するために、万全な出動体制を維持します。 火災対応図上訓練等のほか、大規模災害対応訓練を実施します。 いざという時に「火を消せる」知識と技術を持った人間を育成するため、市教育委員会・全小学校と連携し、全校で授業に「4年生全児童の防火体験」を取り入れていただき実施します。									
意図 （何を狙っているのか）	災害に対して迅速且つ的確に対応し、被害の拡大を最小限に抑えること。 いざという時に「火を消せる」知識と技術を持った人間を育成すること。									
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外									
区 分					単位	23年度	24年度		25年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	災害出動件数	件	1,041	1,041	770	770			
	指標2									
	指標3									
活動指標	指標1	火災の焼損面積	m ²	198	198	685	685			
	指標2									
	指標3									
成果指標	指標1	平均火災鎮火時間	分	42	42	65	65			
	指標2	児童・生徒の防火体験	名	0	2,030	1,823	1,951			
	指標3	大規模地震発生時、初動体制訓練	名	0	51	56	56			
上位成果指標	指標1									
	指標2									
	指標3									

コード	3362	事務事業名称	警防活動事業				所属名	消防署
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続		社会的変化に対応しながら，消防体制の見直しを行い，市域での災害の軽減が図れる消防行政を推進していく。	
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			この事業は火災等の災害に対する防ぎょ等を主体にするため，その性質上成果は不変です。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
消防への出動要請に即応し，災害の人的・物的被害軽減を図ること。 消防体制を万全とし，市民生活の安寧を図ること。									

所属長コメント	市民の安心・安全のため，昼夜を問わず要請のあった全ての災害に対応するために，訓練計画に基づき訓練を実施し，活動体制の充実強化を図っていく。また，昨年度から実施した「児童・生徒の防火救命体験」を引続き実施し，いざという時に「火を消せる」「人の命を救える」人間を養成し，被害の拡大を最小限にするため，積極的にこの事業を進めていく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									